

東大病院麻酔科・痛みセンターとの勉強会

2017年3月24日（金）

東大医学部附属病院 麻酔科・痛みセンターの笠原諭先生から「慢性疼痛の生物心理社会モデルによる俯瞰的評価と実践への展開-痛みとうつ状態の奥に何を見るか-」という基調講演を頂戴し、当分野大学院生の川崎・菅原先生からの症例報告を加えて、難治性の慢性疼痛に関する勉強会を開催しました。



「痛み行動」を「健康行動」へと置換していく治療戦略として、オペラント行動療法や薬物療法を患者さんのパーソナリティ特性に合わせて使い分けていく・・・と書けば一見簡単そうですが、現実はいろいろ難しい課題がある臨床上の問題を東大の先生方と和やかな雰囲気の中で、動機付け面接の導入や多職種連携など具体的な技法についても自由闊達に議論してきました。D6の木村くんや春から入局の渡辺・須賀先生も参加してくれて、楽しい懇親会となりました。

このような医歯の良いコラボで、「ドパミン神経系の機能不全」という斬新な切り口で難治性の慢性疼痛の治療や研究をもっと展開していけたらと思います。